2020年9月吉日

会員各位

生産性向上支援訓練の御案内

茨城県シートメタル工業会
会　　長　　増田　道造

拝啓　仲秋頃　会員各位におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、昨年度から茨城職業能力開発促進センター様支援の下実施させていただいております、生産性向上を目的にした人材育成教育、『生産性向上支援訓練』を本年度も開催することといたします。
内容といたしましては、会員企業の生産性向上を目的とし、今回第4回目として成果を上げる業務改善　講習を実施いたします。
ご多忙とは存じますが、多数ご参加頂きますようお願い申し上げます。

敬具

日　　程　　２０２０年１２月９日（水）

予　　定　　受付集合　　8時50分
セミナー　　9時00分～17時00分

セミナー　**成果を上げる業務改善**

生産性向上に資する業務改善の目的と必要性を理解し、
改善の視点と具体的な進め方を習得する。

**第一線ものつくり現場リーダーの人材教育を目的とし、
管理者に必要な知識・技能の習得を目標にしています。**

講　　師　　㈱インソース

講師　**小田部　隆　先生**

沖電気株式会社入社。ソフトウェア技術者の育成業務を担当。
その後OKIグループの人材育成施策の企画作成及び講師などを
歴任。定年退職後は㈱インソース講師として、多種訓練支援に携わる。

会　　場　㈱アマダ　水戸営業所　会議室
茨城県水戸市千波町2303-1　　TEL　029-305-3866

受講対象　　リーダー候補生、または新任リーダークラスの社員

人数　15名　　機構の委託事業として、８名以上２９名以下の募集になります。
感染症対策として定員の５０％での募集となります。
(先着順、定員になり次第締め切らさせていただきます)

受講料　**無料**　　(講習時に２０センチ以上のスケールと電卓、筆記用具を持参願います)
※機構の委託事業のため申し込み後のキャンセルは３週間前までにお願いします。
※昼食は工業会負担で用意します。

申込締切　２０２０年１０月３０日（金）必着でお願いします。
(テキスト手配の関係上よろしくお願いします)

会社名	従業員数　　人	
ふりがな 受講者氏名	年齢	性別
ふりがな 受講者氏名	年齢	性別
ふりがな 受講者氏名	年齢	性別

２０２０年１０月３０日（金）までにメール又はFAXにて返信お願いします。
茨城県シートメタル工業会事務局　担当　新井
TEL 029-305-3866 /FAX 029-305-3837

生産性向上支援訓練カリキュラム

機構施設名： 茨城職業能力開発促進センター

(B)横断的課題 組織マネジメント	成果を上げる業務改善

コースのねらい	生産性向上に資する業務改善の目的と必要性を理解し、改善の視点と具体的な進め方を習得する。

		「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)
基本要素	1	業務改善と業務の可視化	(1) QC活動とは・問題とは何か QC活動とは品質管理に関わる業務改善などの活動全般、 問題とは現状とあるべき姿のギャップ (2) 改善対象の抽出' 問題点を洗い出す6つのポイント (3) 業務改善企画書の作成 改善企画書は業務改善を実現する前提 改善企画書作成のポイント	2
	2	状況変化に対応する現場力	(1) テーマの選定・現状分析・原因追及 重点指向で臨む、見えない現実を数値化する 工程分析を行う、真の原因につきあたるまで徹底的に考える (2) 目標設定・対策の立案・検討 明確な目標を立てる(可能な限り数値化)、ヒラメキが出るまで考え抜く(決まりきった対策では決まりきった結果しか生まれない) (3) QC活動('対策の実施・効果の測定・改善の定着と継続) メンバーを動かす、途中経過の検証・計画の修正を行う、 対策ごとの効果を確認する、改善を維持するプロセスを考える	3
演習			【ワーク】自組織の問題からフェルミ推定を使ってコスト計算をしてください。 【ワーク】自組織の問題について、その複数の原因を可能な限り「なぜ？」で掘り下げましょう。 など	1
応用・実践要素			【ワーク】自組織の抱える問題を洗い出しましょう 【ワーク】洗い出した問題をどのような方法で分析するべきか など	1
			訓練時間合計	7

カリキュラム作成のポイント

少人数の企業様から200名規模の企業様まで幅広いリーダー層の方の受講を想定した汎用性の高いテキストをベースに、「QC活動」というキーワードを用いて、工場・製造現場における品質管理・業務改善のご担当者向けにカスタマイズした内容としております。
また、講師からは単なる製造業という大きな括りからではなく、「モノづくりの現場」からの観点で講義し、皆様と一緒に学びを深めます。

■ 講師プロフィール

小田部隆

（おたべたかし）

1986年　沖電気工業株式会社入社。
ソフトウェア教育部に配属、ソフトウェア技術者の育成業務および講師を担当

1998年　蕨事業所総務部へ異動。
職場＆社員労務相談窓口（ハラスメント・メンタルヘルスなど含む）を担当

2006年　株式会社沖ヒューマンネットワークへ転籍。
教育部長として、OKIグループ各社の人材育成に携わる
営業・SE人財から工場における多品種少量生産技能工までの人財育成を担当

2010年　株式会社OKIプロサーブへ企業統合。マネージャー職。
OKIグループ、外販企業向け「営業・SEから製造・品質保証などの人財」に対する
階層別教育を担当

2012年　OKIグループおよび外販向けの講師を専業。
講師登壇＆テキスト作成（2015年度のべ180日登壇）。部長から新入社員まで幅広く担当

2017年　マネージャー職。
OKIグループおよび外販向けの人財育成施策の企画、提案計画、研修開催およびフォロー

2019年　インソース講師に就任

※OKI（沖電気工業）とは？
電機総合メーカー。
銀行のATMや高速道路のITSを始めとする、情報通信分野における設計・生産受託サービス、
多品種少量生産などのモノづくりから、情報通信ソリューション、プリンタ、AI、EMSを
販売・提供する総合メーカー

■分野　管理職（部長）、リーダーシップ、OJT、評価者、コーチング、リスクマネジメント、ハラスメント、メンタルヘルス、問題解決、業務改善、タイムマネジメント、プレゼンテーション、ファシリテーション、ロジカルシンキング、コミュニケーション、マナー、キャリアデザイン、ネットワーク基礎、ITパスポート

■資格　情報処理技術者試験第1種、マイクロソフト認定システムエンジニア（MCSE）、
メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅱ種、Ⅲ種

■コメント　30年以上大手メーカー企業にて人財育成および人事・総務部門にて業務を行い、マネージャー職も歴任してきた講師。個人個人への意識の落とし込みを重要視し、「わかったぞ」「これならできる」を作り上げ、更に「本当にできる」ステージまで促す実力がある。

（2020年9月　現在）